



有限会社 吉田工業

vol.27

2025 年 3 月 15 日発行



Voice



建設工事部 機械課 主任

MURAYAMA HIROTO 村山 紘斗

2017年に有限会社吉田工業に中途入社し、建設工事部の機械課で主任を務めている村山紘斗さん。現場で責任者を任されるなど、期待の若手社員として社内でも注目を集めている村山さんに、入社後の経緯ややりがいを感じた仕事、後輩への指導で心がけていることや今後の目標など、今の飾らない気持ちを語っていただきました。

入社の経緯を

教えてください。

前職で土木工事の仕事をしていた、そのときの先輩から紹介していただいたのが入社のきっかけです。当時、結婚して子どもができませんでした。たばかりで、天候に左右される土木工事よりも安定した仕事を求めています。

入社当初は使用する道具も作業

工程も異なり、戸惑いがありましたが、研修もしっかりしていて、現場でも上司の皆さんがしっかりと教えてくれたため、比較的早く仕事に慣れることができました。上司の皆さんがフレンドリーで距離が近く、困ったこともすぐに相談でき、とても助かりましたね。

仕事のやりがいを

教えてください。

1年ほど前、秋田のバイオマス発電所の建設工事現場で初めて機械を担当し、すべての据え付け工事を任されました。無事に終わったときの達成感はとても大きなものでしたね。

担当者として初めての仕事だったため、上司のサポートを受けながら据え付け工事を進めていきました。最初は自信が持てずに不安

でしたが、上司に細かく確認し、サポートしていただいたおかげで徐々に不安がなくなっていきました。その結果、無事にトラブルなく終えることができ、その上司にはとても感謝しています。

失敗体験などは

ありますか。

慣れるまでは小さなミスをたくさんしてきました。機械と機械を繋ぐ際は、0.01cmの単位で調整していかなければなりません。最初のうちはこの誤差に気がつかず、危うく機械を壊してしまいそうになりました。このような技術は一朝一夕で身につくものではなく、小さなミスを経験し、地道に慣れていくしかありません。今はようやく、このようなミスがなくなってきたように思います。

後輩の指導について、

意識していることは

ありますか。

秋田の現場のときに、私にも初めて新入社員がきました。最初はどのように教えればいいのかわからなかったのですが、自分が今まで先輩たちにやってもらったことをそのまま返そうと思いました。まずは説明し、その後実際に私がやって見せて、今度は後輩にやってもらう。それを確認し、間違っていればアドバイスすること繰り返しました。

残念ながらその新入社員は家庭の事情で辞めてしまったのですが、秋田の現場でかなり成長したように感じました。私たちの仕事は段取りが一番大切で、次に何をするのか、どのような道具が必要なのか、先々を読む力が求められ

ます。その子はそうした段取りができるようになっていたため、うまく指導できたと思っています。

今後の目標を

教えてください。

吉田工業が元請として担当する現場で、「村山が来てくれたらその現場は大丈夫だ」と思われるような存在になりたい。現場を安心させられる確かな技術と、知識を身につけたいと思います。

さらに、下請けで入っている方は未経験者の場合が多く、何か質問されたときには、すぐに正しい答えを出せるようにしていきたいと思います。今は答えを出すまでに、少し考えたり悩んでしまったりしていますが、それらを直していくことが目標ですね。

また、一年ほど前から現場の原

価管理を任せられるようになり、自分の現場でどれくらい売り上げがあるのか意識するようになりました。余計な経費がかからないよう、道具は丁寧に扱うなど、当たり前のことを徹底していこうと思います。

現場で学ぶ姿勢を崩さず、後輩への指導にも力を入れていきたいと語る村山さん。これからの吉田工業を引っ張る存在として、現場で活躍し続けていくでしょう。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

打ち解け 上手になる 秘けつ



初対面でも
問題なし！



仕事を円滑に進めるうえで欠かせない「コミュニケーション」。業務上の会話はもちろん、たわいない日常会話も互いの関係性を構築するため大切な時間です。特に初対面の場合、はじめの雑談がなければ、ぎこちない関係が続いてしまうことでしょう。しかしながら、雑談が苦手で苦労しているという声は少なくありません。「何を話せばいいかわからない……」「盛り上げようとするともの、空回りしてしまう……」「こんな悩みをお持ちの方は、ぜひこの記事を読んでみてください！」

面 白い話をしなくても良い！？

「初対面で打ち解けるために、楽しい話をしないと！」というのは、大きな誤りです。そのようなプレッシャーを感じる必要はありません。雑談とは、お互いの警戒心を解き、スムーズで円滑な関係を作ることが目的です。皆さんも、初対面の相手と、とりとめのない話で盛り上がってすっかり意気投合したことや、ほとんど話したことのない上司と移動時間などで長々

と世間話をしているうちに信頼関係が構築できたことなど経験していませんか？これらは、話の面白さによってもたらされた結果でしょうか？おそらく違うでしょう。**話の内容はあまり関係がないのです。**
業務上の打ち合わせであれば、「結論から話す」「数字やデータなどの定量的指標を用いて話す」ことが大事かもしれませんが、雑談でそれを意識していると、なかなか話が続きません。大切なのは「会話の内容」ではなく「会話の継続」です。

共通点は不要！知らないことは教えてもらおう！

初対面の相手との会話において、なんとか共通点を探ろうとしても見つからず、気まずい雰囲気になることもあると思います。しかし、**雑談において共通点は重要ではありません。**むしろ、全く共通点がなく、知らないことばかりの方が、話は盛り上がりとも言えます。

たとえば、相手が大のプロレスファンだとします。あなたはほとんど知識がありません。そんなときでも、「何がきっかけでファンになったのですか？」「実際に観戦にも行くんですか？」「どこで試合って行われているんですか？」「こんなこと聞いたら怒られるかもしれませんが、あれってシナリオがあったりするんですかね？」と、知らないからこそ質問が湧き出てきます。

ちなみに、**話を広げるコツとして、過去、現在、未来の順に質問を投げかける、という方法があります。**過去であれば、「いつからお好きなんですか？」、現在であれば、「最近注目している選手は誰ですか？」、未来であれば「今度はいつ観

戦に行かれるのですか？」といった具合です。時系列に沿って質問を投げかけると、話が展開しやすくなるのです。これからは、相手がよく知らない話題を持ち出したら、「困った」ではなく「ラッキー」と思っ、いろいろ教えてもらいましょう。

雑 談中はアドバイス不要！

ちなみに、雑談中に、「ちょっと困ったことがあつて……」「最近、悩んでいて……」と、相談や愚痴が含まれることがあります。ついアドバイスをして、解決に導きたくなる人もいるかもしれませんが、**こと雑談中においてはぐっと我慢して、共感に留めるのが得策です。**

というのも、アドバイスが的を射ていれば良いのですが、そうでない場合、「この人に相談しても意味がなさそうだ」と判断され、口を閉ざされてしまう恐れがあります。そうすると、雑談どころではなくなるでしょう。

前段で記した通り、まずは会話を継続させることが必要です。「そうだよな」「大変だったね」「私もそう思うよ」と相づちを打つことで、自ずと雑談は続いていくことでしょう。もちろん、悩みや問題の解決も重要ですが、それは距離が縮まってからじっくりと進めてください。

いかがでしたでしょうか？このような雑談を通じて関係が深まると、相手に対する理解度が高まります。「知らない人」から「少し知っている人」に格上げされ、よりいっそう興味が湧いてきます。信頼関係、交友関係とは、この興味関心の積み重ねと云えるのではないのでしょうか。雑談スキルを身につけることで、誰とでも打ち解けられるようになり、仕事はもちろん、人生全般の人づきあいが広がることにもなるでしょう。ぜひ参考してみてください。



社内報ができるまで

早いもので、吉田工業の社内報『YOSHIDA MAGAZINE』も発行から約1年が経過しました！そこで、創刊1周年を記念して、制作の裏側を皆さんにご紹介します！

STEP

01

巻頭インタビュー対象者の選定

巻頭インタビューは社内報の中でもメイン企画！「今月号の顔」として毎号表紙を飾っていただきます。実際にインタビューをしてから原稿作成に15営業日かかるので、かなり前から動き始めています。

担当者
POINT



インタビューは電話で30分程度お時間を頂戴しています！

皆さんの吉田工業に入社した経緯や、これまで携わられたお仕事のお話、記憶に残っている失敗エピソードなど、深堀しながら取材をしています。毎回どんなお話が聞けるのか楽しみにしています♪

発行
2か月前

発行
1.5か月前

発行
1か月前

発行
2週間前

発行日

STEP

02

コンテンツ面の企画決定及び対象者選定

皆さんのやる気上がるようなノウハウ共有や、同僚の新たな一面を知ることができるようなコンテンツを毎月選定しています。企画が決まってから、アンケートの依頼や電話取材の対象者を選定して、原稿を作っていきます。皆さんいつもご協力ありがとうございます！

STEP

04

紙面の確認

完成した紙面を社内報担当者が細かく確認します。掲載者の部署役職・お名前、お写真に誤りがないか、文章に誤字がないかなど確認をして修正依頼を出し、最終チェックまで念入りに行います。

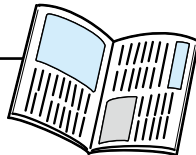


STEP

03

紙面デザインの確定

季節に合わせたり、企画の内容に合わせてたりして、毎号ページごとにデザインを考えています。また視覚的にも読みやすいデザインにするために、専属のデザイナーと何度もやり取りをし、文章や写真の位置も決めています。



STEP

05

社内報発行 発行日 皆さんのお手元に

完成した紙面を配信します！

担当者から皆さんへ

お忙しいなか、社内報製作のためのお時間を捻出してくださり、ありがとうございます！

皆さんの温かいご対応には、私自身いつも助けられております。工作上、様々な企業様と関わる機会が多いのですが、特に吉田工業の社員の皆さんは本当にお人柄が良い方々ばかりだと感じています。例えば、取材を行うため社員の方にお電話を差し上げると、皆さんお仕事がとてもお忙しいなかであるにもかかわらず、いつでも明るく丁寧にご対応くださいます。また、取材を通して、皆さんそれぞれが熱い思いを抱き、イキイキとお仕事をされていることが強く伝わり、一緒にお仕事をさせていただいていることを光榮に感じております。いつも本当にありがとうございます！これからも皆さんの魅力を発信していく社内報を製作できるよう、精進してまいりますので、引き続きお力添えいただけますと幸いです！



グレイスコミュニケーションズ株式会社
編集部
かの ひな
菅野 陽菜

新しい環境で
挑戦して
いきます!

中途社員紹介

いそがい かずと
磯貝 一翔 さん

profile 01

出身地 茨城県北茨城市

誕生日 2004年11月20日

好きな食べ物 味噌ラーメン

好きな言葉 省エネ



実は〇〇なんです

実は人見知りなんです!

よく周りからは「人見知りにみえない」と言われるのですが、初対面の人などは喋りかけるのがとても苦手です!

休日の過ごし方

休日を家で過ごすのが嫌なため、基本的にはよく出かけています。最近は関東地方の遊園地を回っていました!

ここを活かしていきたい!

人を笑顔にするのが得意なため、それを活かして皆さんを笑顔にできたらいいなと思います。

意気込み

去年の自分よりも
何か一つレベルアップ
したいと思います!



新たに当社の仲間に加わった磯貝さんと鐵さん。
好きな食べ物や休日の過ごし方など、
プライベートに迫る質問に回答していただきました。
会話のきっかけに、ぜひご覧ください！



てつ てるあき

鐵 照朗 さん

profile 02

出身地

茨城県

誕生日

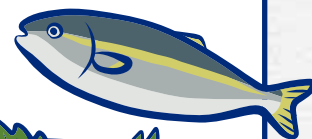
1976年1月7日

好きな食べ物

刺身

好きな言葉

気合い



休日の過ごし方

沖ドキ！

ここを活かしていきたい！

手先が器用なため、技術的な仕事をしたいと思います。

意気込み

昨年は骨折して
痛い思いをしたため、
安全作業を心がけます。



I'll work hard to learn and grow!

